令和６(2024)年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻
修士課程入学試験案内
(冬季募集)

文化・人間情報学コース

注意：本案内以外に、本学府学生募集要項についても必ず目を通すこと。

出願上の諸注意

１．入学願書作成に関する注意

(1) 入学願書は、コースにより記入項目が異なるので、十分注意して選択し、1 コースのみ提出すること。万が一、提出書類でコースの選択が統一されていない場合、入学願書で選択したコースに出願したものとして取り扱う。

(2) 「外国語（英語）受験方法」欄は、該当する項目を選択すること（「外国語（英語）試験について」参照)。

(3) 「出身大学」欄に正確な学部・学科名を必ず記入すること。また、東京大学を令和 6(2024)年 3 月に卒業見込の者は、現在の学生証番号を記入すること。

(4) 大学院を修了している場合も、「出身大学」欄には学部に関する履歴を必ず記入すること。また、複数の大学を卒業(見込)又は大学院を修了(見込)の場合は、履歴に記入すること。

(5) 「現在の身分」欄は、「出身大学」欄の大学に在学中以外の所属がある場合のみ、所属機関、部署等の名称及び身分を具体的に記入すること。研究生等の場合も同様。

(6) ファクス番号(fax)及び電子メールアドレス(e-mail)の欄は、緊急連絡手段として記入可能なものがあれば、記入すること。

２．成績証明書に関する注意

(1) 成績証明書は、必ず教養課程を含んだ 4 年間分を提出すること。

(2) 大学院を修了している場合も学部の成績証明書を必ず提出すること。

(3) 複数の大学を卒業(見込)又は大学院を修了(見込)の場合は、複数の成績証明書を提出してもよい。

(4) 大学に編入学している場合は、編入学前の大学等の成績証明書も提出すること。

(5) 原本は各自保管すること。

３．指導教員希望調査書に関する注意

(1) 「学生受入教員名簿（修士課程)」（後掲）を参照の上作成すること。

(2) 「指導教員希望調査書」に記入する教員は、必ず志望するコースに記載された教員から選ぶこと。

(3) なお、指導教員は本調査書の内容を尊重の上、入学後に最終的に決定される。

４．推薦書に関する注意

(1) 出願者の専門領域に関わる研究面あるいは、実務面での経験及び能力に関する評価を記入したもの。

(2) 評価者は、官公庁、企業及び団体等の所属機関の上司、卒業論文他学位論文の指導教員、その他本人の経験及び能力を熟知している者等とする。

(3) 評価者は、推薦書記入後、指定のウェブサイトへアップロードすること。

５．日本語学力証明書に関する注意

(1) 外国人（日本の大学を卒業した者及び卒業見込みの者を除く）は、必ず提出すること。

(2) 日本語学力証明書の様式は、原則として本案内添付の様式を使用すること。これと別な様式とする場合は、「話す力」「聞く力」「書く力」及び「読む力」の評価並びにその評価方法等が記載された内容の証明書とすること。

６．各種証明書及び提出書類等に関する注意

(1) 外国語試験の成績証明書の取扱いについては、本入学試験案内の「外国語（英語）試験について」を参照すること。

(2) 提出する証明書、論文等は、日本語又は英語によることを原則とするが、やむを得ない事情により、他の言語の証明書を提出する場合は、和訳又は英訳した文書を添付すること。

７．各種提出書類等に関する注意

(1) 東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻修士課程学生募集要項（冬季募集）「7.提出書類等」に基づき、指定のウェブサイトより入力及びアップロードすること（入力及びアップロード方法の詳細はウェブサイトに掲載する）。

(2)「受験番号」欄以外は、それぞれの書類の注意書き等に従い、該当する箇所すべてを記入すること。

(3) 複数の書類に共通して記入する事項については、記入後、相違がないか必ず確認すること。

(4) 「研究成果物」は、日本語又は英語によるものとし、表（おもて）に氏名を明記の上、アップロードすること。「研究成果物」が出願受付期間に間に合わない場合には、東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻修士課程学生募集要項（冬季募集）「7.提出書類等」（注１）に記載された期限を厳守で提出すること。

(5) 提出書類(各種証明書等)に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、改姓名したことが確認できる証明書を添付すること。

(6)ポートフォリオは、他の提出資料と合わせて PDF として指定のサイトよりアップロードするものとする（アップロード方法の詳細はウェブサイトに掲載する）。

・デザイン・芸術表現等の分野におけるこれまでの顕著な活動を説明する資料（書式任意）。複数人での活動の場合、個人としての貢献を証明、または明確に説明することが望ましい。

・必要に応じて、賞状のコピー等の業績を証明する資料や、作品のコピーを PDF 内に添付しても良い。

・ポートフォリオ内、サイズや形式の関係で PDF には収まらないファイル、映像、ウェブ等への URL（および必要に応じてパスワード）を含めても良いが、これらはあくまで参考とし、PDF 内に記載された内容をもとに評価を行うものとする。URL の先のファイルは 2024 年 2 月末までは閲覧可能な状態にしておくこと。

文化・人間情報学コース案内

本学府修士課程[文化・人間情報学コース]は、21 世紀的な諸課題に理論的かつ実践的に取り組んでいくことのできる深い学識と精緻な方法的能力をそなえた研究者や実践者を養成する教育を行います。具体的な研究分野には、生命、身体、環境、文化、表象、歴史情報、メディア表現、学習、リテラシー等の諸領域が含まれます。

１．募集人員

募集人員
18 名（夏季、冬季の入試の合計人数である。特別選考枠を含む。）

（注）試験の結果によっては、入学許可者数が募集人員に達しない場合もある。

２．試験科目等

(1) 一次選考

判定は、外国語試験の成績証明書及び書類選考により行われる。

(2) 二次選考

一次選考合格者のみを対象にオンライン会議システムにより遠隔で口述試験を行う。口述試験にはネットワークに接続し、カメラで受験者を撮影可能なコンピュータ（ノートパソコン等）が必要である。方法の詳細についてはウェブサイトへ掲載する。

試　験	内　　容
口述試験	基礎及び専門学力、研究能力及び研究計画について総合的に行う。本人の説明時間は 15 分以内とする。

外国語（英語）試験について

一次選考における外国語（英語）の試験は下記の方法による。
本学府が指定する TOEFL-ITP は実施しない。
入学願書の所定欄の希望する受験方法に一つだけチェックすること。
なお、外国語（英語）の試験について、下記で指定する受験方法以外は認めないので注意すること。

Ａ．次のア、イ、ウ いずれか１つを提出する。

ア．TOEFL-PBT または TOEFL-iBT の公式スコアシート
※TOEFL iBT Home Edition も可
イ．TOEIC の公式認定証
ウ．IELTS の公式成績証明書
※Computer Delivered IELTS（アカデミック・モジュール）も可

【ア．TOEFL（https://www.cieej.or.jp/toefl/）について】

〇試験の種類：TOEFL-PBT または TOEFL-iBT とする。
※TOEFL iBT Home Edition も可

〇有効期限：本学府入学試験の２年前(2022 年)の１月１日以降、別紙「学生募集要項(2.出願方法・出願期間)」記載の出願受付期間終了までに受験したものに限定する。

〇提出書類：**「Institutional Score Report」または「Official Score Report」**
Institutional Score Report または Official Score Report は、ETS から東京大学大学院学際情報学府宛　に直送されるものである。
受験生は、ETS に対して Institutional Score Report または Official Score Report の送付を請求する必要がある。

〇提出方法：「Institutional Score Report」または「Official Score Report」の到着期限は、令和６(2024)年１月９日（火）本学府必着とする。ETS に対して東京大学大学院学際情報学府宛「Institution Code コード:0440(U of Tokyo, Grad Sch Inter Info）」Department コード：″99″(Any Department Not Listed)へ送付するよう必ず請求する。
出願時に Appointment Number を記入すること。
注）請求方法などは、TOEFL のウェブサイトで十分確認すること。
https://www.ets.org/jp/toefl/test-takers/ibt/scores/

〇注意事項：※ 各スコアの到着には約６週間程度かかることがあるので、日程に余裕を持って受験又は請求すること。詳しくは TOEFL ウェブサイトで確認

すること。
※ 不正が判明した場合は、受験後であっても、受験資格を取り消す。

【イ. TOEIC（https://www.iibc-global.org/toeic.html）について】

○試験の種類：TOEIC L&R とする。
※「TOEIC S&W、TOEIC Speaking、TOEIC Writing、または TOEIC SW Test」、「TOEIC Bridge Test または TOEIC Bridge」のスコアは受け付けない。

○有効期限：本学府入学試験の 2 年前(2022 年)の 1 月 1 日以降、出願受付期間終了までに受験したものに限定する。

○提出書類：「Official Score Certificate」（公式認定証）をスキャンして提出すること。
団体特別受験制度(IP: Institutional Program)の Score Report（個人成績表）、スコアシートのコピーなどは受け付けない。

○提出方法：願書提出時に他の書類と共に本学府に提出することを原則とする。
ただし、上記有効期限内に受験したもので、願書提出期間に間に合わない場合は、事前に連絡の上、令和 6(2024)年 1 月 9 日（火）正午必着で本学府にメールで提出すること。

○注意事項：※ 不正が判明した場合は、受験後であっても、受験資格を取り消す。

【ウ. IELTS（https://www.eiken.or.jp/ielts/）】

○試験の種類：アカデミック・モジュールとする。
※Computer Delivered IELTS（アカデミック・モジュール）も可。
※ジェネラル・トレーニング・モジュールの成績は受け付けない。

○有効期限：本学府入学試験の 2 年前(2022 年)の 1 月 1 日以降、出願受付期間終了までに受験したものに限定する。

○提出書類：IELTS 公式成績証明書（Test Report Form）をスキャンして提出すること。

○提出方法：IELTS 公式成績証明書（Test Report Form）は、願書提出時に他の書類と共に本学府に提出することを原則とする。ただし、上記有効期限内に受験したもので、願書提出期間に間に合わない場合は、事前に連絡の上、令和 6(2024)年 1 月 9 日（火）正午必着で本学府にメールで提出すること。
また、IELTS を実施している公益財団法人日本英語検定協会の管轄オフィスから大学に成績証明書（Test Report Form）を送付するサービスを使って提出することも可とする。その場合、令和 6(2024)年 1 月 9 日（火）本学府必

着とする。管轄オフィスに対して東京大学大学院学際情報学府宛へ送付するよう必ず請求する。あて先は、東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻修士課程学生募集要項（冬季募集）表紙を参照すること。

注）請求方法などは、IELTS のウェブサイトで十分確認すること。

https://www.eiken.or.jp/ielts/result/

https://www.eiken.or.jp/ielts/apply/

〇注意事項：※ 不正が判明した場合は、受験後であっても、受験資格を取り消す。

文　化　・　人　間　情　報　学　コ　ー　ス
学　生　受　入　教　員　名　簿（修士課程）

学際情報学府修士課程指導教員のうち、令和 6(2024)年度において学生受入を行う教員は以下のとおりである。
「指導教員希望調査書」に記入する教員名は、必ず以下に記載された教員から選ぶこと。

教員名	役職	本コースにおける担当専門分野（キーワード）
遠藤　基郎	教授	日本中世史、寺院史料アーカイブズ、歴史研究用データベース、目録コンテンツ作成の現場
大島　まり	教授	STEAM 教育、探究的・協調的学習、最先端研究の教育コンテンツ化、科学技術コミュニケーション
岡　美穂子	准教授	日本の宗教史、文化史、歴史教育、世界史のなかの日本
小川　浩之	教授	国際政治史、イギリス政治外交史、イギリス帝国史、コモンウェルス（英連邦）、ヨーロッパ統合、冷戦史
筧 康明	教授	インタラクション、メディアアート、実世界拡張、創造・表現活動支援、デジタルファブリケーション、インクルーシブデザイン
影浦　峡	教授	本、翻訳、図書館、情報媒体、言語処理
菊地　大樹	教授	日本中世史　日本宗教史　歴史資料学　古記録　石造物　スピリチュアリティ
黒木　真理	准教授	回遊魚の文化誌、うなぎ学、水圏環境教育、科学コミュニケーション
田中　東子	教授	メディア論、カルチュラル・スタディーズ、現代フェミニズム理論、メディアとジェンダー、メディア・テクノロジーと表現文化
永吉　希久子	准教授	計量社会学、政治意識、移民・国際移動、社会的排除・不平等
開　一夫	教授	赤ちゃん学、認知科学、神経科学、機械学習、計算モデル
藤田　結子	准教授	メディア・文化の社会学、人種・ジェンダー、グローバリゼーション、文化生産、労働、エスノグラフィー
藤本 徹	准教授	ゲーム学習、教育のゲーミフィケーション、シリアスゲーム、オンライン学習コミュニティ
前田　幸男	教授	世論調査、選挙研究、マスメディアと政治、政治コミュニケーション、国際比較調査、データ・アーカイブ
真鍋　祐子	教授	コリアン・スタディーズ、宗教運動と民衆運動、ナショナリズムとツーリズム

武藤　香織	教授	研究倫理、医療イノベーション政策、社会学、生命倫理学、障害学
山内　祐平	教授	学習環境のイノベーション、ブレンド型学習、創発型学習空間、学習支援システム
山名　淳	教授	教育哲学・思想史、メモリー・スタディーズ、想起文化、教育アーキテクチャ、メディアと人間形成
横山　広美	教授	科学コミュニケーション、科学とクラウドファンディング、科学とジェンダー、ビッグサイエンス、科学技術政策
渡邉　英徳	教授	デジタルアーカイブ、情報デザイン、コミュニティデザイン、データジャーナリズム、ビジュアライゼーション

（五十音順）